

元号	年	項目	備考
昭和	31	池上図書館開館	大田区における最初の図書館。開館時間9時～5時(日曜開館)館報1号に「図書館づくり構想」を発表。:1. 各地域に図書館を適正に配置する。2.各図書館の協力による図書館網を形成する
昭和	32	館外貸出開始	1回1冊10日以内(当面「7日」以内で運用)
昭和	32	夜間開館開始	池上図書館で午後9時まで
昭和	32	レコードコンサート開始	池上図書館でレコードコンサート開始
昭和	34	蒲田・洗足池図書館準備開始	1回1冊7日以内館外貸出
昭和	35	蒲田・洗足池図書館開館	3館間で相互貸借業務開始(各館で交互に所蔵目録を交換)
昭和	35	池上図書館団体貸出開始	10人以上の団体に対し1回30冊まで30日間:未読者層および図書館未設置地域に対する図書館サービスの進展ならびにグループ読書の育成
昭和	37	洗足池図書館増築のため休館	改築中は近隣の清水窪小学校を借りて業務。(8月～翌年2月)
昭和	38	池上で団体貸出専用図書設置	団体貸出の発展にとともに専用図書を配置(1696冊)
昭和	38	紙芝居購入開始	蒲田図書館で紙芝居購入開始
昭和	38	購入希望図書制度開始	蒲田図書館で購入希望図書制度開始
昭和	38	洗足池図書館増築	
昭和	39	司書講習制度発足	職員が司書資格を取得できるよう司書講習に派遣する
昭和	39	児童サービス開始	洗足池図書館に少年室を設置。大田区における児童サービス開始
昭和	39	団体貸出発展	団体貸出の配達・回収を図書館の負担で配本車によっておこなう
昭和	39	夜間開館拡大	蒲田・洗足池で7時まで開館。池上は利用調査のうえ7時までに短縮
昭和	40	都立日比谷図書館特別貸出開	都立図書館が対図書館サービス開始
昭和	41	図書館館外貸出規定制定	3月教育委員会告示
昭和	41	奉仕連絡会発足	不定期だが各館の奉仕主任の会議開始(3館連絡会と称する)
昭和	42	大田ブックチェーン設立	書店組合から図書を購入するシステムはじまる
昭和	42	蒲田図書館移転	産業会館より第三庁舎へ移転
昭和	42	児童サービス拡大	蒲田図書館に少年少女室設置
昭和	42	児童貸出用手提げ袋	蒲田図書館で児童の図書館利用を促進するため児童貸出用ビニール袋を作製し配布を開始した
昭和	44	中央館準備委員会答申	貸出冊数4冊2週間 未修学児童・幼児にも貸出と答申
昭和	45	館外貸出拡大	大田図書館で貸出1回4冊2週間に
昭和	45	共通貸出券開始	一枚の貸出券で大田区内全館の貸出ができるようになる
昭和	45	コピーサービス開始	大田図書館でコピーサービス(B5 1枚10円)開始
昭和	45	児童サービス拡大	池上図書館に児童室開設、資格試験コーナー設置
昭和	45	総合目録開始	カード式総合目録で区内各図書館所蔵の図書が全て大田図書館でわかる目録を作成。利用者からの所蔵調査へ対応開始
昭和	45	団体貸出発展	団体貸出を大田図書館の業務とする。予算・貸出冊数の増加
昭和	45	ヤングアダルトサービス開始	蒲田図書館に中学生コーナー設置
昭和	45	ヤングアダルトサービス拡大	馬込図書館に中学生コーナー
昭和	45	大田図書館開館	大田区立図書館の中心館として開館。予約制度はじめる
昭和	46	集会室運営要綱作成	大田・馬込図書館で集会室運営要綱作成
昭和	46	定期刊行物総合目録刊行開始	全館の定期刊行物の所蔵目録刊行開始(以降毎年刊行)
昭和	46	浜竹図書館開館	6館目 希望制貸出4冊はじめる
昭和	46	馬込図書館開館	5館目
昭和	47	館外貸出拡大	洗足池1回3冊2週間の貸出
昭和	47	館外貸出し拡大	洗足池図書館3冊2週間貸出開始
昭和	47	館外貸出し拡大	馬込1回3冊2週間の貸出
昭和	47	館則改正	1回2冊4週間。実際は館により2～4冊2週間の貸出
昭和	47	区民センターへ施設貸出	大田図書館から6区民センターに資料貸出
昭和	47	特別貸出制度発足	大田図書館で特別貸出制度発足
昭和	47	メールカー制度開始	メールカー(配本車)運行開始。運搬対象は図書のみ
昭和	47	レコード貸出開始	大田・馬込図書館でレコードの収集・貸出開始
昭和	47	六郷図書館開館	7館目
昭和	48	都立中央図書館開館	特別貸出は日比谷図書館から中央図書館へ、拠点館貸出となる
昭和	49	15館構想設定	第4回定例区議会で区長および教育長が「5万人に1館」図書館建設を表明
昭和	49	入新井図書館開館	8館目。体の不自由な方の図書館利用を考慮した区内で最初の設計。都全体でも珍しく、各紙、NHKテレビ等で紹介される。以降建設の区内の図書館には障害者用設備が設置されていく
昭和	49	図書館サービスシステム化計画発表	全国に先駆けてシステム化のための条件が決定されその実現に向かう
昭和	50	足利文庫開設	足利晴之助氏寄金による足利文庫開設(地方史のコレクション)
昭和	50	館外貸出拡大	全館4冊2週間貸出に
昭和	50	コピーサービス開始	入新井図書館でコピーサービス開始
昭和	50	下丸子図書館開館	9館目。障害者サービスの区内拠点館となる
昭和	50	メールカー各館交代担当制決定	第1回は12月に洗足池が添乗
昭和	51	入新井館報創刊	「ぶっくぼすと」第1号発刊
昭和	51	大森南図書館開館	10館目
昭和	51	紙芝居会開始	下丸子図書館で紙芝居会開始
昭和	51	館外貸出拡大	4冊2週間貸出に
昭和	51	館外貸出拡大	池上が5月からはじめ、全館1回4冊2週間貸出に
昭和	51	館外貸出拡大	洗足池図書館就学前児童への貸出開始
昭和	51	参考図書目録作成	
昭和	51	大活字本コーナー開設	入新井図書館で大活字本コーナー開設
昭和	51	対面朗読サービス開始	下丸子図書館で障害者サービスの一環として職員による対面朗読開始
昭和	51	宅配サービス開始	下丸子図書館で障害者サービスの一環として宅配サービス開始
昭和	51	図書館間貸出制度加入	大森南図書館で国会図書館の「図書館間貸出制度」加入
昭和	51	メールカー拡大	午前・午後の2回巡回に 添乗担当館始発を決定。第1回は池上

元号	年	項目	備考
昭和	51	録音図書サービス開始	下丸子図書館で障害者サービスの一環としてカセットテープ貸出開始
昭和	52	足利文庫目録刊行	大田図書館で足利文庫解題図書目録刊行
昭和	52	カセットテープ貸出開始	大田図書館でカセットテープ貸出開始:以降下丸子(障害者専用)を除く全館で貸出
昭和	52	館報発刊	六郷図書館、館報「六郷」発刊
昭和	52	館報発刊	大森南図書館、館報「みなみだより」発刊
昭和	52	館報発行	入新井図書館で子ども向け館報「ちやいるどたいむす」発刊:2年程度
昭和	52	共同保存庫思想の強化	大田図書館の20万冊収容書庫を全館の書庫と考え他館で収容しきれなくなった資料的価値の高い資料を集中保存
昭和	52	児童サービス おはなし会開始	下丸子図書館でおはなし会開始
昭和	52	集会室設置	浜竹図書館で集会室設置・運用開始
昭和	52	障害者カセットテープ貸出開始	下丸子図書館で障害者用カセットテープ貸出開始
昭和	52	資料の分担収集・保存開始	各館で特定分野を分担、比較的高度な専門・学術書の収集開始
昭和	52	相互貸借強化	下丸子図書館国立国会図書館「図書館間貸出制度」に加入
昭和	52	対面朗読サービス開始	下丸子図書館で対面朗読サービス開始
昭和	52	対面朗読サービス拡大	大森南図書館で障害者サービスの一環として職員による対面朗読開始
昭和	52	宅配サービス拡大	大田図書館で障害者サービスの一環として宅配サービス開始
昭和	52	多目的室設置	大森南図書館で閉館後も利用できる集会室設置
昭和	52	団体貸出発展	入新井図書館で保育園へ団体貸出開始
昭和	52	団体貸出発展	下丸子図書館団体貸出開始(5グループ)
昭和	52	団体貸出発展	六郷図書館、小学校へ団体貸出開始
昭和	52	地域の小学校に団体貸出開始	蒲田図書館、小学校等へ団体貸出開始
昭和	52	地域の小学校に団体貸出開始	浜竹図書館で学級文庫に対し団体貸出開始
昭和	52	分担収集分野確定	浜竹図書館「航空工学」を分担収集開始
昭和	52	分担収集分野確定	入新井図書館「言語・国語」を分担収集開始
昭和	52	分担収集分野確定	池上図書館、分担収集「東洋哲学」決定
昭和	52	分担収集分野確定	大田図書館、分担収集「歴史・文学」決定
昭和	52	分担収集分野確定	大森南図書館、分担収集「生物関係」決定
昭和	52	分担収集分野確定	六郷図書館、分担収集「機械工学」決定
昭和	52	分担収集分野確定	下丸子図書館、分担収集「家庭関係」決定
昭和	52	分担収集分野確定	蒲田図書館、分担収集「建築・電気」決定
昭和	52	分担収集分野確定	馬込図書館、分担収集「馬込文士村コーナー」決定
昭和	52	分担収集分野確定	洗足池図書館、分担収集「音楽・演劇」決定
昭和	52	盲人用録音物等発受施設指定	下丸子図書館で盲人用録音物等発受施設指定を受ける
昭和	52	臨時貸出ステーション	大森南2-4-10空き地に臨時貸出ステーションを3ヶ月設置
昭和	52	朗読ボランティア講習会開催	「声読奉仕者朗読講習会」対面朗読、録音図書作成を強化。:以降大田、大森南、蒲田駅前、大森東、大森西で行われる
昭和	53	大森南図書館で病院サービス開始	大森南図書館で地域内の病院に対して病院貸出開始 平成9年まで団体貸出
昭和	53	おはなし会拡大	大田図書館でおはなし会開始
昭和	53	開館時間拡大	洗足池・浜竹図書館で春夏秋冬休み期間こども室の開室を午前10時から午後5時とする
昭和	53	カセットテープ貸出開始	洗足池図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	53	カセットテープ貸出開始	六郷図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	53	カセットテープ貸出開始	入新井図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	53	館外貸出し拡張	六郷図書館就学前児童に貸出開始
昭和	53	館報創刊	洗足池図書館で館報「洗足池」開始
昭和	53	館報創刊(こども)	六郷図書館でこども室館報「ロック」発刊
昭和	53	声の目録完成	下丸子図書館で「声の目録」完成
昭和	53	コピーサービス開始	洗足池図書館でコピーサービス開始
昭和	53	コピーサービス開始	六郷図書館でコピーサービス開始
昭和	53	児童室開館時間延長	大田・入新井・池上で夏・春・冬休みは10時から5時とする
昭和	53	児童絶版品切図書調査保存開始	東京都公共図書館長協議会の調査により大田区でも調査保存開始:以降中断はあるが継続して調査・保存
昭和	53	城昌幸記念文庫	馬込図書館で「城昌幸記念文庫」開設
昭和	53	団体貸出発展	大森南図書館団体貸出開始
昭和	53	団体貸出発展	六郷図書館で保育園への団体貸出開始
昭和	53	朗読ボランティア講習会開催	大田図書館で「声読奉仕朗読者講習会」開始(第1回)
昭和	53	朗読ボランティア講習会開催	下丸子図書館で「声読奉仕朗読者講習会」大田と共催(第2回)
昭和	53	録音図書作成開始	大田図書館で録音図書(テープ図書)作成開始
昭和	54	YAサービス開始	大田図書館「中学生コーナー」設置
昭和	54	大田区立図書館全集総合目録刊行	全集・叢書について収集分担を決め保存。冊子目録刊行
昭和	54	親子読書会開始	大森南図書館で親子読書会開始
昭和	54	カセットテープ貸出開始	蒲田図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	54	カセットテープ貸出開始	池上図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	54	カセットテープ貸出開始	大森南図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	54	カセットテープ貸出開始	浜竹図書館でカセットテープ貸出開始
昭和	54	コピーサービス開始	蒲田図書館でコピーサービス開始
昭和	54	集会室貸出	六郷図書館で集会室利用開始
昭和	54	障害者カセットテープ貸出開始	六郷図書館で障害者用カセットテープ貸出開始
昭和	54	新刊案内(障害者用テープ)	「新しい本のおしらせ」テープ版作成開始
昭和	54	宅配開始	入新井図書館で障害者用宅配サービス開始
昭和	54	宅配開始	大森南図書館で障害者用宅配サービス開始
昭和	54	団体貸出発展	池上図書館で保育園等へ団体貸出開始
昭和	54	図書館ギャラリー開設	六郷図書館で「図書館ギャラリー」開設

元号	年	項目	備考
昭和	54	文庫本コーナー	大田図書館で文庫本コーナー設置
昭和	54	朗読ボランティア講習会開催	下丸子図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第3回)
昭和	55	学校貸出開始	大森南図書館で学校貸出開始(児童図書読書推進活動)
昭和	55	学校貸出開始	大田図書館で学校貸出開始(児童図書読書推進活動)
昭和	55	学校貸出開始	洗足池図書館で学校貸出開始(児童図書読書推進活動)
昭和	55	蒲田駅前図書館準備室発足	仮称新蒲田図書館準備室廃止。蒲田駅前図書館準備室となる
昭和	55	行政資料コーナー	大田図書館で「行政資料コーナー」設置
昭和	55	郷土史座談会	大森南図書館で郷土史座談会記録刊行(第1回)
昭和	55	コピーサービス開始	池上図書館でコピーサービス開始
昭和	55	コピーサービス開始	浜竹図書館でコピーサービス開始
昭和	55	児童絶版品切図書保存制度化	以降毎年調査・保存館決定・分担保存
昭和	55	児童図書読書推進活動	地域内の小学校と各図書館が協力、学級あるいは学校単位に児童書の団体貸出開始
昭和	55	学校図書館協力援助事業開始	
昭和	55	新館準備	仮称新蒲田図書館準備室設置
昭和	55	相互貸借拡大	池上図書館で「国立国会図書館間貸出制度」に加入
昭和	55	大活字本収集開始	池上図書館で大型活字本収集開始
昭和	55	都立中央図書館「予約制度」開始	都立図書館が協力貸出に「予約制度」導入 受付開始(4月)
昭和	55	読み聞かせ会開始	浜竹図書館で「読み聞かせ会」開始
昭和	55	朗読ボランティア講習会開催	大田図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第4回)
昭和	55	朗読ボランティア講習会開催	下丸子図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第4回)
昭和	55	朗読ボランティア講習会開催	下丸子図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第5回)
昭和	55	朗読ボランティア講習会開催	大森南図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第1回)
昭和	55	朗読ボランティア講習会開催	馬込図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第1回)
昭和	56	学校貸出開始	池上図書館で学校貸出開始(児童図書読書推進活動)
昭和	56	学校貸出開始	入新井図書館で学校貸出開始(児童図書読書推進活動)
昭和	56	蒲田駅前図書館開館	11館目。共同書庫として7万冊収容の電動書庫付設
昭和	56	児童奉仕担当研修開始	職員に対し、3回「おはなし会について」等の研修計3回: 延べ参加107人
昭和	56	障害者サービス	大森南図書館が「国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関」となる
昭和	56	障害者サービスパンフレット	障害者サービスパンフレットを全館及び盲人図書室で作成配布
昭和	56	障害者用読書あんないテープ	大森南図書館で「読書あんない」テープ作成
昭和	56	盲人用録音物等発受施設指定	大森南図書館で盲人用録音物等発受施設指定受ける
昭和	56	朗読ボランティア講習会開催	下丸子図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第6回)
昭和	56	朗読ボランティア講習会開催	馬込図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第2回)
昭和	56	朗読ボランティア講習会開催	大森南図書館で「声読奉仕朗読者講習会」(第2回)
昭和	56	録音図書作成開始	大森南図書館で録音図書(テープ図書)作成開始
昭和	57	大森東図書館開館	12館目
昭和	57	メールカー増便	メールカー週1回(水曜2回)運行開始
昭和	57	長期保存雑誌移管	大田図書館の長期保存雑誌を蒲田駅前図書館の保存庫に移管
昭和	58	多摩川図書館開館	13館目
昭和	58	メールカー増便	メールカー週2回(火・金)運行開始
昭和	58	録音図書総合目録開始	盲人図書室と共同作成。下丸子図書館に設置(カード式)
昭和	59	CD収集開始	久が原図書館でCD収集開始(500点)
昭和	59	久が原図書館開館	14館目。以降開館の館はNDC分類採用 カード目録購入
昭和	59	多目的室使用要綱	東京都大田区立図書館多目的室使用要綱改正(58年4月1日施行59年10月1日改正)
昭和	59	廃棄基準策定	大田区立図書館資料廃棄基準策定
昭和	60	拡大写本サービス開始	下丸子図書館でボランティアによる弱視者のための拡大写本作製開始
昭和	60	館外貸出規則改正	館外貸出登録期限を1年から2年とする
昭和	60	個人情報保護条例	「大田区電子計算機に係わる個人情報の保護に関する条例」公布
昭和	60	総合目録事務改善案作成	電算化を提言
昭和	61	CD貸出開始	久が原図書館でCD貸出開始
昭和	61	CD貸出拡大	大田・大森西図書館でCD貸出開始
昭和	61	CD収集拡大	大田(755点)・大森西(816点)・多摩川(260点)図書館でCD収集開始
昭和	61	大森西図書館開館	15館目
昭和	61	月曜開館正式決定	
昭和	61	児童室午前開室正式決定	全館で午前10時から午後5時まで開室
昭和	61	事務改善委員会発足	電算化を含め事務改善を総合的に検討
昭和	61	全集総合目録	大田区立図書館全集総合目録改訂版刊行
昭和	61	図書装備委託開始	大田ブックチェーンに図書の装備委託を依頼
昭和	62	児童視物選択2日間に	蒲田駅前図書館で隔週火曜日→火・水に
昭和	62	児童書の品切れ絶版本集中保	大田区立図書館児童図書共同保存要項(案)
昭和	62	児童貸出用手提げ袋	それまで各館ごとに作製していた児童貸出用袋を全館共通のデザイン(黄色・ウサギの柄)にする
昭和	62	障害者サービスパンフレット改訂	障害者サービスパンフレットを全館及び盲人図書室で改訂作成配布
昭和	62	総合目録コード	冠称の読み方等の統一のため、「総合目録コード」作成
昭和	62	メールカー増便	メールカー週3回(火・木・土1回)運行開始
昭和	63	CD貸出拡大 CD視聴開始	全館でCD視聴サービスおよび貸出開始(新規開始館は所蔵200点前後)
昭和	63	池上図書館移転	大田区民会館よりNTT池上ビルへ移転
昭和	63	児童共同リーフレット	区内の小学生を対象に図書館案内パンフレット作成配布
昭和	63	事務改善委員会答申	電算導入による新図書館システムを提言
昭和	63	第1回図書展開催	全館共催で「平和を考える図書展」開催
昭和	63	メールカー増便	メールカー週3回(火・木・土2回)運行開始
昭和	63	録音図書検討委員会設置	障害者サービスの録音図書について作成館による検討委員会設置
平成	1	FAX導入	全館にFAX導入。総合目録の問い合わせ等事務改善

元号	年	項目	備考
平成	1	児童書の品切れ絶版本集中保	各館で保存していた資料を下丸子図書館で集中保存開始
平成	1	障害者用リーフレット作成配布	障害者サービスパンフレットを全館及び盲人図書館で作成配布
平成	1	第2回図書展開催	「大田区ゆかりの作家たち」展開催
平成	1	中学生用パンフレット作成配布	区内の中学生を対象に図書館案内パンフレット作成配布
平成	1	長期保存雑誌バックアップ体制	従来の保存期間+1年保存し、欠号のバックアップをする
平成	2	足利文庫目録	大田図書館で「足利文庫目録」(平成2年3月)刊行
平成	2	大田図書館スロープ工事	大田図書館玄関前に車椅子用スロープ設置工事
平成	2	第3回図書展開催	「環境を考える図書展」開催
平成	2	図書館電算化検討委員会	大田区立図書館「電算化基本計画」策定
平成	2	図書館電算化検討委員会発足	電算システム検討開始
平成	2	都立中央パソコン通信試行	大田図書館で端末を都立中央図書館から借用して都立中央図書館蔵書CDROM検索とパソコン通信による協力貸出依頼試行
平成	2	馬込文士村ハンドブック	馬込文士村ハンドブック(郷土博物館刊)委託販売
平成	2	録音図書総合目録取扱基準	大田区立図書館および大田区民センター盲人図書館所蔵録音図書総合目録に関する取扱基準施行
平成	3	蒲田図書館移転開館	第三庁舎より東蒲幼稚園跡地へ移転
平成	3	障害者サービスのありかた答申	「録音図書を中心とする障害者向けサービスのあり方について」答申
平成	3	セットアップ事前休館	5/1～5/31(大田)5/25～6/14(大森西)6/8～6/28(蒲田駅前)
平成	3	第4回図書展開催	「女性を考える図書展」開催
平成	3	電算化管理運営委員会発足	図書館電算化管理運営委員会発足
平成	3	電算化基本計画書	大田区立図書館電算化基本計画書作成
平成	3	ビデオテープ購入開始	蒲田図書館で教育・教養(日本映画)中心に収集、視聴覚資料コーナーのビデオブースで視覚サービス開始
平成	4	大田図書館が都立中央図書館にパソコン通信による協力貸出開始	大田図書館パソコン通信による都立中央図書館との協力貸出依頼開始
平成	4	セットアップ資料校正開始	電算化にともない、セットアップ資料の校正開始
平成	4	第一次電算化準備開始	第1次電算化に向けデータセットアップ等の準備開始
平成	4	長期保存雑誌みなおし	電算化にともない、長期保存雑誌を全面見直し
平成	4	図書館資料複写取り扱い要綱(案)	
平成	4	都立中央図書館パソコン通信による協力貸出開始	蔵書情報をCD-ROM化して区立図書館に配布開始、パソコン通信による協力貸出開始 パソコン通信による高価本リスト配布
平成	4	ボランティア報償費制度化	録音図書、対面朗読等のボランティアに報償費予算化
平成	5	大田区立図書館事務取扱要綱	大田区立図書館事務取扱要綱施行(3/31)
平成	5	館則全面改正	電算化3館の貸出を図書4冊視聴覚資料2点から図書6冊視聴覚資料4点に改正。6年間有効の「共通かじりカード」(図柄は知恵のシンボルである「ふくろう」を採用)に切り替える。利用者用端末機による複合検索開始
平成	5	第一次電算化	大田・大森西・蒲田駅前図書館電算化(稼働3/31) 電算導入時より秋岡式分類使用館は日本十進分類表を順次変更
平成	5	馬込文士村資料室開室	5月馬込文士村資料室開室(馬込図書館)
平成	6	CD-ROM検索開始	大森東・大森西・入新井・馬込・池上・久が原・浜竹・六郷・下丸子・多摩川・蒲田・蒲田駅前図書館CD-ROM検索(都立中央蔵書)開始
平成	6	大森南図書館改修休館	4/20～7/10休館
平成	6	外国語資料誌誌データ	検討委員会(4月～10月)マニュアルを作成
平成	6	隔週日・月休館	日・月曜は全館を2グループに分け区内の半分は常に開館する。館内整理日を15日→第二木曜日に
平成	6	貸出冊数変更	年末年始図書8冊視聴覚資料4点(電算稼働館とする)未導入館は増冊せず
平成	6	姉妹都市セーラム市と資料交換	羽田図書館にセーラムコーナー設置。セーラム市公共図書館資料の交換をはじめる
平成	6	障害者サービス電算化検討開	担当者会で障害者サービスの電算化について検討する
平成	6	洗足池図書館改築のため休館	平成6年4/1～8年7/16
平成	6	第二次電算化	大森東・馬込・久が原・多摩川・蒲田図書館電算化(稼働3/31)
平成	6	電算マニュアル刊行開始	Licsマニュアル順次配布(奥付は94年9月16日)
平成	6	都立中央図書館パソコン通信開始	CD-ROM検索して協力貸出申込、「WANTED」を利用してネットワーク協力もできるようになる 大田区は平成9年2月から全館開始(～1999.12)
平成	6	羽田図書館開館	12/15開館
平成	6	羽田図書館設置条例	区議会で羽田図書館設置条例採択
平成	6	メールカー増便	メールカー週6回(月～土2回)運行開始(除祝・年末年始)
平成	6	リサイクル要綱	大田区立図書館資料再利用要綱決定(平成7年4月1日から施行)
平成	7	研修について	大田区立図書館職員研修のあり方(平成7年2月)答申
平成	7	嘱託員制度提案	大田区立図書館嘱託員の設置に関する規則(案)提示
平成	7	除籍資料再利用事業開始	平成7年11月開催の「OTAふれあいフェスタ」に参加、始めて図書館リサイクルコーナーを開設
平成	7	全館日曜開館	月曜は全館を2グループに分け区内の半分は常に開館する
平成	7	総合目録廃止	大田図書館で電算化にともないカード式の総合目録廃止
平成	7	相互貸借の強化	城南ブロック(大田・品川・目黒)相互貸借開始
平成	7	第三次電算化	入新井・浜竹・下丸子(3/1)・池上・六郷(3/31)・大森南図書館(7/11)電算化
平成	7	都立中央図書館とのパソコン通	大森南図書館でCD-ROM検索(都立中央蔵書)・パソコンによる協力貸出依頼開始(7月)
平成	7	都立中央図書館とのパソコン通	羽田図書館でCD-ROM検索(都立中央蔵書)・パソコンによる協力貸出依頼開始(12月)
平成	7	メールカー増便	メールカー週7回(月～日2回)運行開始(除祝・年末年始)
平成	7	図書・雑誌の共通返却開始	10/1より、貸出館以外の館での返却業務受付を開始
平成	8	AV資料集中保存	蒲田図書館のAV保存庫にCD・ビデオ集中保存検討開始(7月より実施)
平成	8	大田区立図書館案内英語版作	図書館案内(リーフレット)の英語版を作成(配布は7月から)
平成	8	外国語資料収集開始	大森南図書館で中国語・韓国語資料収集開始 配布用パンフレット作成
平成	8	勝海舟コーナー設置	洗足池図書館で勝海舟コーナー設置
平成	8	自費出版コーナー設置	洗足池図書館で自費出版コーナー設置
平成	8	共通返却拡大	視聴覚資料(AV資料)の相互貸借および共通返却開始(11/1)

元号	年	項目	備 考
平成	8	雑誌分担収集	城南ブロック長期保存雑誌分担決定
平成	8	児童奉仕担当者マニュアルの作成	5月初級編を作成
平成	8	事務取扱要綱一部改正	団体貸出業務について電算対応用に様式変更 各種用紙をA4化
平成	8	洗足池図書館新装開館	7/17開館
平成	8	団体専用図書解消	大田図書館の団体貸出業務縮小にともない専用資料解消(他館と文庫等に配布)
平成	8	図書館資料分類表作成	郷土資料、児童、映像、視聴覚資料分類表刊行
平成	8	都立中央図書館とのパソコン通	洗足池図書館でCD-ROM検索(都立中央蔵書)・パソコンによる協力貸出依頼開始(12月)
平成	8	分担収集分野確定	羽田図書館の分担収集分野が「通信」に決定
平成	8	リサイクル事業実施	大田図書館で2341人来館: 2万冊以上配布: 8年度中に、浜竹、大森東、大森西、六郷、入新井、馬込、蒲田図書館でリサイクル事業実施 馬込図書館と大田図書館では、リサイクルの常設コーナー設置
平成	9	大田区立図書館例規・内規集刊行	大田区立図書館例規・内規集刊行
平成	9	大田フェスタにリサイクル本出展	大田ふれあいフェスタに本のリサイクル出展
平成	9	開館日拡大	4月1日より祝日、5月4日、第5月曜日、12月28日開館月曜交互・第二木曜と年末年始休館(年間業務日数359日)
平成	9	購入全集一覧集計	城南ブロック購入全集集計一覧作成
平成	9	雑誌の集中選択開始	各館で選定していた雑誌を委員会形式で集中選定開始
平成	9	児童奉仕担当者マニュアルの作成	5月入門編・実技編を作成
平成	9	障害者サービス	点字図書録音図書全国総合目録CD-ROM検索開始(大森南)
平成	9	障害者サービス	大森南病院サービス中止
平成	9	資料管理検討委員会(第1期)発足	9月～10年3月 資料管理検討委員会
平成	9	図書館奉仕員制度導入	大田区図書館奉仕員取扱要項施行 地域館に各3名配置
平成	9	都立中央図書館とのパソコン通	既実施館を除く全図書館でCD-ROM検索(都立中央蔵書)・パソコンによる協力貸出依頼開始(2月)
平成	9	利用者用端末増設	大田に+2台、地域館に+1台 回線の高速化(ISDN化64kbps)
平成	10	貸出停止処分制度化	東京都大田区立図書館事務取扱要項一部改正、貸出停止処分制度化(2月1日施行)
平成	10	資料管理検討委員会(第2期)発足	第1部会(9月～11年1月) 第2部会(9月～12月)第2次(11年6月～12年1月)
平成	10	メールカー増便	メールカー週7回(月～日2回+火・金1回)運行開始(除年末年始)
平成	10	児童貸出用手提げ袋	児童貸出用袋(全館共通のデザイン、塩化ビニール製、黄色)を最後に作製する
平成	11	児童奉仕担当者マニュアルの改訂	平成9年5月入門編・実技編を改訂
平成	11	電算システムマニュアルの改訂	「Licsマニュアル1999年版」として改訂 各館に配布
平成	12	AV検討委員会発足	全館の担当者が集まってAV資料の選定調整をはじめ(平成14年度末まで)
平成	12	MARC変更	新システム下で使用する図書資料用MARCを日版からTRCに変更することを区長決定
平成	12	システム担当係発足	大田図書館内に新システム準備のためシステム担当係長と係員1名増員業務係4名を含め6人体制で発足
平成	12	選書基準答申	資料検討委員会(第2期)第2部会「資料収集部会」第2次答申
平成	12	図書館システム開発計画書	内部資料として作成
平成	12	図書館システム開発計画書	システム更新に向けて計画書第2版館長決定
平成	12	奉仕係名称変更	大田区立図書館奉仕係→事業係に名称変更
平成	12	メールカー増便	メールカー週7回(月～日2回+月・火・金1回)運行開始(除年末年始)
平成	13	インターネットによる業務検索開始	ネットワーク化により各館2回線分(56k)のインターネット接続可能に。都立中央図書館とのWebによる相互貸借業務開始
平成	13	大田文化の森情報館開館	図書館類似施設として11月4日日本庁舎跡地に「大田文化の森情報館」開館
平成	13	学校向け図書館利用案内検討委員会発足	11月「総合的学習の時間対応」のため学校向け図書館利用案内検討委員会発足。利用方法、担当館、利用案内の作成等について検討開始
平成	13	声の図書室ネットワーク化	業務ネットワークに「声の図書室」追加
平成	13	視聴覚資料選定要綱	3月大田図書館長決定(視聴覚資料の分野別選定基準を策定)
平成	13	資料管理検討委員会	資料管理検討委員会第二期第二部会第三次答申
平成	13	資料管理検討委員会(第3期)発足	資料管理検討委員会第三期答申
平成	13	新システム稼働	平成13年4月20日稼働(IBM-Clis)
平成	13	スポーツ新聞購入中止	区の方針により図書館でのスポーツ新聞の購入を中止する
平成	13	統計の見直し	新システム稼働にあわせて統計項目の見直し(入館者統計の廃止等)をおこなう
平成	13	図書館内ネットワーク使用	グループウェア(サイボウズ)導入 図書館内での情報伝達をオンライン化
平成	13	都立中央図書館OPAC	都立中央図書館がwebOPACで都内所蔵雑誌を公開、区立図書館(中央館)にCD-ROM配布
平成	14	館内OPACからの予約開始	6月1日より館内OPACから図書・AV含めて10点までの予約開始。5月18日より利用者から予約に必要なパスワードの申し込み登録開始
平成	14	システム担当係解消	システム構築により13年度末担当係解消 14年度事業係システム・選書兼務担当5人体制となる
平成	14	集中選書開始	4月大田図書館による集中選書業務開始
平成	14	集中選書方針等策定	集中選書方針策定/各館分野別分担収集改訂
平成	14	分担収集分野変更	集中選書にともない、分担収集分野変更
平成	14	マニュアルのオンライン化	図書館業務マニュアルの一部(館長会記録・奉仕連絡会記録取り決め事項を含む)のオンライン化開始
平成	14	メールカー便数変更	積載量増加にともない月～金毎日1回2便、土日1便に
平成	14	レコードのリサイクル	平成12年度まで大田・馬込図書館で所蔵していたレコードをリサイクル実施8547点再利用
平成	14	学校向け図書館利用案内	4月各小学校長あてに案内学校向け図書館利用案内配布
平成	14	国立国会図書館関西館開館	国立国会図書館関西館開館
平成	14	都立中央図書館都内図書館横断検索システム	都立中央図書館都内図書館横断検索システム運用開始/区市町村立図書館新聞雑誌目録をインターネットで公開
平成	15	国立国会図書館	1月国立国会図書館が郵送複写申込み開始(利用者)
平成	15	国立国会図書館	2月国立国会図書館が点字・録音図書総合目録をHP上で公開
平成	15	全国新聞目録データベース一般公開	2月国立国会図書館HP上で全国新聞目録データベース一般公開
平成	15	資料に対するリクエスト提供方針作成	2月大田区立図書館未所蔵資料への要望に関する提供方針作成
平成	15	業務委託マニュアル作成	委託化にともない業務委託マニュアル作成(以降随時改定)
平成	15	図書館の業務委託開始	4月蒲田駅前、久が原、池上、洗足池、入新井図書館窓口業務等の業務委託開始
平成	15	開館時間延長	委託館は開館時間を土日祝日も9:00～19:00とする
平成	15	付属CD-ROM等の貸出許諾調査開始	4月図書・雑誌資料の付属CD-ROMについて、出版社に貸出許諾調査を実施 原則として不許諾の資料は購入しない方針とする

大田区立図書館 略年表

資料7-6

元号	年	項目	備考
平成	15	外国語資料の提供方針作成	7月大田区立図書館外国語資料の提供と購入の方針作成
平成	15	外部行政経営診断	外部行政経営診断があった。(図書館の部分の指摘あり)
平成	15	外部行政経営診断対応検討会答申	7月外部行政経営診断の図書館に対する診断結果に対して検討会を発足、答申を提出
平成	15	大学図書館との相互貸借について	大学図書館との相互貸借について手順書作成
平成	15	浜竹図書館移転	9/26～10/24休館、10/24移転新装開館
平成	15	読み聞かせボランティア講座開催	10/14 池上会館(児童文学評論家松居直氏講演「子どもの心の発達と絵本の役割」)
平成	15	大田区子ども読書推進計画の策定	大田区子ども読書推進計画が策定される
平成	16	入新井街区再開発計画	入新井街区(旧ハローワーク跡地・入新井出張所・入新井図書館)の再開発について住民との懇談会が発足
平成	16	図書館業務運営指針作成	2月一般書1タイトル購入上限を2冊まで、雑誌複本数の見直しなどを含む運営指針を大田図書館長決定
平成	16	大田区立図書館選書基準の策定	3月大田区立図書館選書基準が策定される
平成	16	図書館の業務委託拡大	4月大森西、馬込、羽田、多摩川、下丸子図書館窓口業務等の業務委託開始
平成	16	郷土博物館大田図書館に編入	4月郷土博物館が大田図書館の組織内に編入される
平成	16	子ども読書の日	2004/4/23子ども読書の日各館で関連行事
平成	16	予約資料の連絡にFAX追加	予約資料の連絡にFAX使用開始(6月1日から)
平成	16	予約資料の取りおき期間短縮	6月予約資料の取りおき期間の短縮(2週間から1週間に)4月～5月を周知期間
平成	16	音訳者養成講座実施(初・中級)	6月～7月全15回
平成	16	ブックスタート(絵本との出会い事業開始)	7月区内保健所での新生児検診で絵本の配布開始(4000人) 絵本の選定に図書館も参加
平成	16	業務委託図書館における顧客満足度向上のための運営要綱	業務委託図書館における顧客満足度向上のための運営要綱策定
平成	16	区政功労者表彰	経験15年以上の音訳ボランティアが表彰された
平成	16	パソコン席設置館拡大	パソコン使用が可能な座席のある館が増加(計10館)
平成	16	地域情報誌の収集	各特別出張所に担当の地域情報誌について大田図書館と管内図書館あてに各2部の送付を依頼
平成	16	読み聞かせボランティア講座開催	10/15・22・29 大田(講座) 11/16池上会館(宮西達也氏講演「絵本はこんなに素晴らしい!」)
平成	16	馬込文士村資料取扱変更	11/10・17・24蒲田(講座) 11/30・12/7・14文化の森(講座)
平成	16	メールカー経路変更	12月馬込図書館所蔵の「城昌幸記念文庫」資料のうち昭和24年以前発行分について館内閲覧のみとする
平成	16	城昌幸記念文庫閉架	12/20積載量増加にともない各館からの配送先、送付量を指定
平成	17	入新井図書館の移転休館決定	12月馬込図書館「城昌幸記念文庫」を保存のため閉架とする。発行年が昭和24年以前の資料は貸出禁止
平成	17	図書館の業務委託拡大	3月(仮称)大森北一丁目開発議会決定
平成	17	開館時間延長館増加	4月大森南、大森東、蒲田、浜竹、六郷図書館窓口業務等の業務委託開始(大田図書館以外すべて大田図書館以外は開館時間を土日祝日も9:00～19:00とする
平成	17	メールカー変更	4月1日より木・土曜日を1便その他の曜日を1日2便に
平成	17	障害者サービスQ&A	4月障害者サービスの概要を説明する「障害者サービスQ&A」発行
平成	17	AVマーク変更	4月よりAVマークをTRCに変更
平成	17	回線の高速化	5月よりインターネット回線をBフレッツに変更
平成	17	音訳者養成講座(上級)	6月～9月音訳者養成講座開催(全6回)
平成	17	入新井図書館跡地交換	大森北一丁目再開発計画により、現図書館跡地とNTT駐車場の交換決定
平成	17	入新井図書館休館	7月1日～平成22年度末(3月29日)まで休館
平成	17	図書リサイクル	7月末入新井キッズフェスティバル開催(図書館の資料を古本市用として提供)
平成	17	図書リサイクル	7月入新井図書館の休館にともない近隣の児童館・保育園・小学校等に除籍資料を提供
平成	17	音訳者現任講座開催	10/5・12(校正A) 10/19・26(校正B) 社会福祉センター、11/1(録音デッキ操作)蒲田
平成	17	指定管理者制度導入	8月平成19～21年度にかけて指定管理者制度の導入方針が出される
平成	17	代替施設請願	入新井図書館の休館中代替施設設置について議会請願否決
平成	17	図書リサイクル	9月入新井図書館の休館にともなう除籍資料リサイクル(区内公共施設向け)
平成	17	パソコン席設置館拡大	パソコン使用が可能な座席のある館が増加(計14館)大・南・東・西・馬・入・池・久・浜・六・下・多・駅・文化
平成	17	ボランティア保険導入	おはなしボランティアを対象にボランティア保険をかける
平成	17	読み聞かせボランティア講座開催	10/18・25 蒲田(ステップアップ講座A) 11/8・15・22 蒲田(ステップアップ講座B) 11/6・13蒲田(講座) ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	17	リサイクル資料の提供	大森地区近代化協議会に対し貸出用および古本市用として、入新井図書館除籍資料から3500冊を提供
平成	18	開館日拡大	全庁で1月4日を開館日とするのにあわせて、1月4日10:00～開館
平成	18	メールカー増便	4月より土日とも増便し全日2便となる
平成	18	図書館の業務委託拡大	4月大田図書館の業務委託開始 全館で一部業務委託
平成	18	開館時間延長	4月全館で開館時間が9:00～19:00となる
平成	18	図書館設置条例の改正	6月指定管理者制度導入に伴う条例改正
平成	18	音訳者現任講座	9/12・27(録音図書35年のあゆみ これからの音声図書とボランティア)蒲田 10/10・17・24(呼吸と発声の基礎)蒲田
平成	18	読み聞かせボランティア講座開催	10/25 下丸子プラザ(長谷川楢子氏講演「絵本はこんなに素晴らしい!」) 11/8・14・21・28, 12/5 蒲田(講座)
平成	18	機器更新	図書館システム用コンピュータ機器更新(12月1日～13日休館)業務サーバ外部委託(ハウジング)、シリーズ予約開始
平成	18	館則改正	12/1貸出冊数全館で12冊AV6点まで 予約上限冊数は貸出冊数と同数に 延長回数1回まで
平成	18	館則改正(貸出停止)	短期貸出停止(返却期限から4週間超過で新規貸出および新規予約受付中止 さらに3ヶ月経過後は長期貸出停止(6ヶ月)
平成	18	館則改正(貸出券)	かしだしカードの有効期限を6年→2年に
平成	18	利用者端末機能拡大	利用者端末から予約取消、連絡方法変更、貸出・取置期間延長が可能に パスワード発行が自動化、即日交付可能に

元号	年	項目	備考
		資料検索	初期値を中間一致とし、上限数を「100」とした。検索履歴画面を追加、履歴を9件まで表示。
平成	18	地域館(14館)指定管理者指定	地域館指定管理者について8事業者を指定
平成	18	複写取扱要綱改正	借用資料について要綱改正(国会図書館等が館内での複写を条件付で認めるのにあわせた改正申請中)
平成	18	馬込図書館 城昌幸記念文庫	古地図16点・レコード1点が劣化したため、「城昌幸記念文庫資料の寄託に関する覚書」により保存と活用を目的に郷土博物館に寄託する
平成	19	指定管理者制度導入	4月大田図書館以外の地域館が指定管理者による運営となる(第1期・3年間)
平成	19	開館日拡大	4月1日より大田図書館以外の地域館の月曜休館日を廃止。第二または第三木曜のみ休館となる
平成	19	図書館情報システム情報セキュリティ基準	4月図書館情報システム等情報セキュリティ実施手順(教育次長決定)
平成	19	大田区緊急2か年計画	図書館インターネット検索、大森北一丁目開発(入新井図書館)が緊急計画に掲載される
平成	19	図書館報発行	大森南、大森東、馬込、久が原、蒲田、浜竹、蒲田駅前図書館
平成	19	指定管理者による自主事業	図書館寄席(蒲田駅前)、読書ゲーム・読書スタンプラリー(大森南・大森東・馬込・洗足池)、映画会(大森南・大森東・蒲田・池上・多摩川)、セミナー(大森西・久が原・浜竹・下丸子・多摩川・蒲田駅前)、講演会(馬込・羽田)、洋絵本100冊展(洗足池)
平成	19	音訳者現任講座開催	11/7(講演:公共図書館の音訳者をとりまく状況と今後の活動)社会福祉センター 11/27・12/4・8(対面朗読と、図形・写真など視覚に訴える資料表現のしかた)蒲田
平成	19	読み聞かせボランティア講座開催	9/12・19・26蒲田(ステップアップ講座)、10/3・10・17洗足池(初級講座①)、10/30 大田区民プラザ(あきやまただし氏講演「絵本を楽しむ」)、11/14・21・28文化の森(初級講座②)、12/4・11・18蒲田(初級講座③)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	19	国会図書館から複写許可	区立図書館全館で国会図書館資料(許可されたものに限定)複写許可される
平成	20	大森東図書館休館	空調設備工事のため1月15日～2月15日休館
平成	20	図書館ホームページ開設	4月大田区立図書館ホームページ開設
平成	20	インターネット資料検索・予約開始	4月インターネット端末・携帯電話を利用したサービス開始(大田区立図書館ホームページから資料検索、予約登録・変更・削除、利用状況確認、貸出・取置期限延長、メールアドレス登録・変更、図書館休館日・行事確認)
平成	20	利用者連絡方法にメールを追加	4月メールによる予約連絡・督促、メールアドレス登録・変更時に確認メール送付開始
平成	20	音声応答サービス開始	4月家庭の電話や携帯電話、FAXを利用したサービス開始(利用状況確認、貸出・取置期限延長、図書館休館日・行事確認)
平成	20	開館日拡大	4月大田図書館の月曜休館日を廃止。全館で第二または第三木曜のみ休館となる
平成	20	メールカー経路変更	4月積載量の増加に対応するため、運行経路を3ルートに分割し、各ルートを午前午後2便運行する
平成	20	共通かじしカード変更	4月有効期限欄追加、印刷の色をアズキ色から紺色に変更
平成	20	入新井地区に予約受取窓口開	4月入新井図書館休館中の臨時予約受取窓口として「おおとり図書館臨時受取窓口」を開設
平成	20	東京都公立図書館横断検索	5月より東京都公立図書館横断検索システムに参加
平成	20	音訳者デジ体験研修	5/22大田(機器操作研修)、6/25・26・27大田(編集体験研修)
平成	20	図書館報発行	大森南、大森東、大森西、馬込、池上、久が原、浜竹、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前図書館
平成	20	指定管理者による自主事業	工作会(大森東・洗足池・羽田・六郷)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南・大森東・馬込)、映画会(大森南・大森東・池上・羽田・六郷・下丸子・多摩川・蒲田)、セミナー(大森東・大森西・馬込・久が原・洗足池・浜竹・六郷・下丸子・多摩川・蒲田・蒲田駅前)、講演会(馬込)、企画展示(池上・洗足池)、子ども図書館員(池上)、朗読会(馬込)
平成	20	読み聞かせボランティア講座開催	7/15・22・29蒲田(ステップアップ講座①)、9/2・9・16洗足池(ステップアップ講座②)、10/14・21・28洗足池(初級講座①)、11/1アブリコ(小林豊氏講演「美しい絵本との出会い」)、11/10・17・27文化の森(初級講座②)、11/25・12/2・9蒲田(初級講座③)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	20	音訳者現任講座開催	10/7・14・21(呼吸と発声の基本ーレベルアップー)蒲田
平成	20	指定管理者研修	11/11「同和問題とえせ同和行為について」
平成	21	Web-OPACによる相互貸借開始	1月城南ブロック(品川を除く)でWeb-OPACによる相互貸借を開始
平成	21	区職員勤務時間	4月2交代勤務廃止、勤務時間を8時30分～17時15分に統一
平成	21	利用者用インターネットサービス	5/7大田図書館・蒲田駅前図書館で利用者用インターネットサービス(1席)開始
平成	21	学校図書館支援事業試行開始	5/25試行を開始(平成21年度は池上第二小学校・蓮沼中学校)
平成	21	Web-OPACによる相互貸借開始	5/15品川とWeb-OPACによる相互貸借を開始
平成	21	読み聞かせボランティア講座開催	7/23・30・8/27蒲田(ステップアップ講座①)、9/3・17・24洗足池(ステップアップ講座②)、10/6・15・29文化の森(ステップアップ講座③)、12/6大田区民プラザ(とよたかずひこ氏講演「読み聞かせはこんなに楽しい」)、11/10・17・24洗足池(初級講座①)、11/26・12/8・22蒲田(初級講座②)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	21	図書館報発行	大森南、大森東、馬込、大森西、久が原、浜竹、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前図書館
平成	21	指定管理者による自主事業	工作会(羽田・六郷・多摩川)、読書スタンプラリー(大森南・馬込)、映画会(大森南・大森東・池上・羽田・六郷・下丸子・多摩川・蒲田・蒲田駅前)、セミナー(大森南・大森東・大森西・久が原・洗足池・浜竹・六郷・下丸子・多摩川・蒲田・蒲田駅前)、企画展示(池上・洗足池)、子ども図書館員(池上)、朗読会(馬込)
平成	21	指定管理者研修	11/10「図書館の危機管理」
平成	21	音訳者デジ体験研修	11/11・12/3・4大田(デジ体験編集など、レベルアップ研修)
平成	22	音訳者現任研修	1/19・26・2/2(対面朗読と図形・写真など視覚に訴える資料表現のしかた)大田区社会福祉センター
平成	22	指定管理者制度	4月地域館の指定管理者による運営第2期(5年間、6事業者)スタート
平成	22	学校図書館支援事業試行	平成22年度6月から3月まで、入新井第五小学校、東蒲中学校
平成	22	業務委託図書館における顧客満足度向上のための運営要綱	5月「業務委託図書館における顧客満足度向上のための運営要綱」廃止(地域館は指定管理者の運営となったため)
平成	22	予約順位表示開始	6月予約照会画面に予約順位表示を開始
平成	22	インターネットシリーズ予約開始	6月インターネットでのシリーズ予約を開始
平成	22	大田区立図書館視聴覚資料選定基準	6月大田区立図書館視聴覚資料選定基準策定、大田区立図書館視聴覚資料選定要綱は廃止

大田区立図書館 略年表

資料7-8

元号	年	項目	備考
平成	22	音訳者デージー研修	6/23・24・25大田(デージー初級研修)
平成	22	音訳者現任講座	10/5/13・20(音訳図書を作るため、その処理の仕方と音声表現について)大田区社会福祉センター 11/26(「調査」をテーマに正確な読み方を調べる方法を学ぶ)消費者生活センター
平成	22	読み聞かせボランティア講座開催	9/7・14・21蒲田(ステップアップ講座①)、9/28・10/5・12洗足池(ステップアップ講座②)、10/19・28・11/4文化の森(ステップアップ講座③)、12/4大田区民プラザ(関屋敏隆氏講演「旅は楽しい絵本が生まれるまで」、11/2・9・16洗足池(初級講座①)、11/30・12/7・14蒲田(初級講座②)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	22	国立国会図書館インターネットによるレファレンス・サービス	10月国立国会図書館インターネットによるレファレンス・サービスに機関登録
平成	22	図書館報発行	大森南、大森東、大森西、馬込、池上、久が原、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前図書館
平成	22	指定管理者による自主事業	工作会(大森南・大森東・池上・羽田・六郷・下丸子・蒲田)、読書スタンプラリー(大森南)、映画会(大森南・大森東・大森西・池上・羽田・六郷・下丸子・蒲田)、セミナー(大森南・大森東・久が原・浜竹・羽田・六郷・下丸子・多摩川・蒲田・蒲田駅前)、企画展示(池上・久が原・浜竹)、子ども図書館員(池上)、朗読会(馬込・久が原・浜竹・多摩川・蒲田駅前)
平成	23	入新井図書館開館	3/29「おおとり図書館」「おおとり図書館臨時受取窓口」「エセナおた返却ポスト」廃止 3/30入新井図書館開館(大森複合施設ビル4階、大田区立図書館として初の民間ビルへの入居)利用者用インターネットサービス2席開始、大田区立図書館で初めて安心カメラを設置、電子辞書の試行開始。
平成	23	有料データベースサービス開始	3/30大田、入新井、蒲田駅前で有料データベース聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞)、D1-Law(第一法規法律情報データベース)サービス開始。
平成	23	デージーによる音訳図書・雑誌製作開始	総合リハビリテーション(蒲田駅前)23年4月号号、日経ヘルス(蒲田駅前)23年6月号、ニュートン(馬込)23年8月号から
平成	23	大田区子ども読書推進計画(第二次)の策定	4月大田区子ども読書推進計画(第二次 平成23年度～平成27年度)が策定される
平成	23	音訳者養成講座	5/10・16・24・31・6/7・14・23・28・7/5・12・9/2・7・16・30・10/7(前15回)蒲田
平成	23	学校図書館支援事業試行	平成23年度6月から3月まで、東調布第三小学校、千鳥小学校、馬込東中学校、大森第十中学校
平成	23	節電の実施	7/1～9/30(東日本大震災の影響)
平成	23	読み聞かせボランティア講座開催	9/13・20・27羽田(ステップアップ講座①)、9/29・10/13・21馬込(ステップアップ講座②)、10/27・31・11/7文化の森(ステップアップ講座③)、10/22入新井集会所(かさいまり氏講演「心のゆれを絵本にして」)、10/27・31・11/7文化の森(初級講座①)、11/1・22・29大森西(初級講座②)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	23	音訳者デージー研修	10/26・27・28大田
平成	23	大田図書館休館	空調設備工事のため11/24～12/14休館
平成	23	指定管理者による自主事業	工作会(大森南、大森東、大森西、入新井、池上、羽田、六郷、下丸子、蒲田駅前)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南、大森西、入新井、馬込、羽田)、映画会(大森南、大森東、大森西、池上、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田駅前)、セミナー(大森東、大森西、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田駅前)企画展示(大森東、入新井、池上、六郷、下丸子、多摩川、蒲田)、図書館の仕事体験(大森東、入新井、池上、久が原)、読書会・朗読会(馬込、久が原、羽田、多摩川、蒲田駅前)、図書館寄席(馬込、羽田)、その他(浜竹:ベルマーク、古切
平成	24	メールカーの増便試行	2/12～土・日の翌日1日一回り増便の試行開始
平成	24	多目的室の申請受付	前月同日から2ヶ月前の同日に変更した。 大田区立図書館多目的室使用要綱、大田区立図書館多目的室使用取扱要領を改正し、大田区立図書館多目的室使用要綱運用規定、大田区立図書館集会所運営要綱運用規定を制定した。
平成	24	メールカーの増便	4月から土・日・祝日の翌日について、1日一回り増便開始
平成	24	音訳者デージー研修	4/25・26・27大田
平成	24	音訳者現任講座	外部行政経営診断があった。(図書館の部分の指摘あり)
平成	24	展示「地域今昔物語」	NHK朝ドラ「梅ちゃん先生」に関連して、大田区立図書館全体で企画展示「地域今昔物語」を実施
平成	24	学校図書館支援事業試行	平成26年度6月から3月まで、久原小学校、糞谷小学校、大森第四中学校、田園調布中学校
平成	24	読み聞かせボランティア講座開催	4/21入新井集会所(葉祥明氏講演「愛を育む絵本の力」)、6/12・19・26文化の森(ステップアップ講座①)、10/5・19・26蒲田図書館(ステップアップ講座②)、10/25・11/8・15大田図書館(初級講座①)、11/6・13・20大田区社会福祉センター(初級講座②)、11/12・19・26(初級講座③)入新井集会所、ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	24	デージーによる音訳雑誌製作開始	浮巢(馬込)24年11月号～
平成	24	図書館システム機器入替	11/26～12/8休館(可能な図書館では図書館システムによる業務以外は利用者対応した)、図書館ホームページの停止
平成	24	最新号雑誌の予約受付開始	予約かご、返却期限通知メール・貸出情報通知メール開始、音声応答システム廃止
平成	24	オリンピック等東京招致機運醸成事業	最新号雑誌の予約受付開始(貸出は従来どおり、バックナンバーになってから) 2020オリンピック・パラリンピック東京招致機運醸成事業として、12/9～1/12に大田区立図書館でPR用五輪エンブレム入りしおりと記念品(図書バック)配布した
平成	24	指定管理者による自主事業	工作会(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、久が原、羽田、六郷、下丸子、蒲田、蒲田駅前)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、浜竹、羽田、六郷)、映画会(大森南、大森東、大森西、池上、羽田、六郷、下丸子、多摩川)、セミナー(大森南、大森東、入新井、馬込、久が原、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前)、企画展示(大森南、大森東、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、多摩川、蒲田)、図書館の仕事体験(池上、六郷)、読書会・朗読会(馬込、羽田、多摩川)、その他(寄席:六郷、羽田、人形劇:入新井、ぬいぐるみお泊り会:蒲田)
平成	25	大田図書館組織改正	4月管理係、事業係を廃止し、図書館担当係長を設置する。
平成	25	利用者インターネット端末追加	4/19下丸子、4/22洗足池
平成	25	学校図書館支援事業試行	平成25年度6月から3月まで、志茂田小学校、道塚小学校、大森第七中学校、蒲田中学校
平成	25	図書館展	9/9、10大田区役所本庁舎1階北口ビーで区立図書館のPR、五味太郎氏寄贈絵本の展示等を実施した。



## 大田区立図書館 略年表

資料7-9

元号	年	項目	備考
平成	25	指定管理者による自主事業	工作会(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、洗足池、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、浜竹、羽田、蒲田)、映画会(大森南、大森東、大森西、池上、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田)、セミナー(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前)、企画展示(大森南、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、六郷、下丸子、多摩川、蒲田)、図書館の仕事体験(池上)、読書会・朗読会(大森南、大森西、馬込、洗足池、羽田、多摩川、蒲田駅前)、その他(寄席:羽田、六郷、人形劇:入新井、ぬいぐるみお泊り会:11/2消費者センター大集会室(中川千尋氏講演「子どもの本の幸せ-私たちの本の舞台裏」)、10/4・18・26馬込図書館(ステップアップ講座①)、10/17・24・31蒲田図書館(ステップアップ講座②)、10/15・22・29羽田図書館(学校図書館ボランティア)、11/14・21・28池上会館(初級講座①)、11/22・12/6・13(初級講座②)入新井集会室、ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	25	読み聞かせボランティア講座開催	11/2消費者センター大集会室(中川千尋氏講演「子どもの本の幸せ-私たちの本の舞台裏」)、10/4・18・26馬込図書館(ステップアップ講座①)、10/17・24・31蒲田図書館(ステップアップ講座②)、10/15・22・29羽田図書館(学校図書館ボランティア)、11/14・21・28池上会館(初級講座①)、11/22・12/6・13(初級講座②)入新井集会室、ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	26	図書館ホームページバナー広告	1月～図書館ホームページにバナー広告を掲載開始。
平成	26	「村岡花子の住んだ街大田区」企画	1月～9月にNHK連続テレビ小説「花子とアン」に関連して、大田区立図書館全体で村岡花子に関連した自主事業を実施
平成	26	利用者インターネット端末全館に設置	4月大森南、大森東、大森西、馬込、池上、久が原、浜竹、羽田、六郷、多摩川、蒲田図書館に追加
平成	26	学校図書館支援事業最終試行	平成26年度5月から3月まで、小学校7校(小池、高畑、南蒲、おなづか、多摩川、大4、嶺町)、中学校4校(東調布、雪谷、南六郷、安方)
平成	26	図書館展	9/18～24大田区役所本庁舎1階北ロビーで各館の自主事業と村岡花子関連の取り組みを紹介し、区立図書館の利用案内とPRを実施した。
平成	26	音訳者現任講座	消費者生活センター10/7、大田図書館10/27、大田区社会福祉センター10/29・11/5・11/12全5回実施。今回の講座は、主に表紙・グラフ・表・写真・地図などの視覚からの読み方に重点を置いた。
平成	26	書籍消毒・除菌器の設置	10月入新井図書館、馬込図書館、洗足池図書館、多摩川図書館、蒲田駅前図書館に書籍消毒・除菌器を設置。
平成	26	読み聞かせボランティア講座開催	27/2/20消費者センター大集会室(後路好章氏講演「赤ちゃんは、こんな絵本を待っている」)、5/20・6/17・24大田図書館(ステップアップ講座①)、11/19・26・12/3多摩川図書館(ステップアップ講座②)、9/26・10/3・10羽田図書館(初級講座①)、10/17・24・31・11/7入新井集会室(初級講座②)、10/16・23・11/6 大田文化の森(初級講座③)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	26	指定管理者による自主事業	工作会(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南、大森東、入新井、馬込、羽田、六郷)、映画会(大森南、大森東、大森西、馬込、池上、羽田、六郷、下丸子、蒲田駅前)、セミナー(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前)、企画展示(大森南、入新井、馬込、池上、久が原、洗足池、下丸子、多摩川、蒲田駅前)、図書館の仕事体験(池上、久が原)、読書会・朗読会(大森南、馬込、洗足池、羽田、多摩川、蒲田駅前)、その他(寄席:羽田、人形劇:大森南、大森西、入新井、羽田、ぬいぐるみお泊り会:大森東、蒲田)
平成	27	声の図書室移転	3月障害者総合サポートセンターへ声の図書室が移転。
平成	27	指定管理者制度	4月運営第3期(5年間、6事業者)スタート
平成	27	学校図書館支援事業	4月大田区立小中学校全87校に学校図書館支援事業を開始
平成	27	蒲田駅前図書館 開館時間変更	4月蒲田駅前図書館は開館時間を1時間延長し、午後8時まで開館。
平成	27	書籍消毒・除菌器の設置	7月大田図書館に書籍消毒・除菌器を設置。
平成	27	Wi-Fiの設置	10月全館にWi-Fiを設置。
平成	27	DVD購入、市販DVD・ビデオ貸出開始	
平成	27	下丸子図書館耐震工事	耐震工事に伴い、下丸子図書館は5/1～12/13まで下丸子2-18-11の仮施設で開館。 28/1/10開館。エレベーター・誰でもトイレを設置
平成	27	音訳者現任講座	大田図書館9/24・10/1・10/15・10/29・11/5の全5回実施。今回の講座は、括弧・傍点・傍線などの多い文書の読み方に重点を置いた。
平成	27	読み聞かせボランティア講座開催	9/25、10/2・9大田図書館(初級講座①)、9/28、10/5・19・26蒲田図書館(初級講座②)、10/8・15、11/5馬込図書館(初級講座③)、11/10・17・24羽田図書館(ステップアップ講座①)、11/19、12/10・17多摩川図書館(ステップアップ講座②)ステップアップ講座の対象者は読み聞かせボランティア その他は一般(区報で周知)
平成	27	指定管理者による自主事業	工作会(大森南、大森東、大森西、馬込、池上、洗足池、浜竹、羽田、六郷、下丸子、多摩川、蒲田駅前)、読書ゲーム・スタンプラリー(大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、久が原、浜竹、羽田、六郷)、映画会(大田、大森南、大森東、大森西、馬込、池上、蒲田駅前)、セミナー(入新井、蒲田)、展示(大田、大森南、馬込、池上、久が原、洗足池、浜竹、多摩川)、図書館の仕事体験(大森東、池上、蒲田駅前)、読書会・朗読会(大森南、大森西、馬込、洗足池、多摩川、蒲田駅前)、その他(寄席:羽田、人形劇:久が原、蒲田、ぬいぐるみお泊り会:大森東、蒲田)
平成	28	図書館展	3/7～10大田区役所本庁舎3階ロビーで各館の自主事業の取り組みを紹介し、区立図書館の利用案内とPRを実施した。 また、読み聞かせボランティア等の講演会を実施した。
平成	28	保存庫	池上図書館保存庫。
平成	28	特設コーナー開設	7月入新井図書館(ビジネス支援コーナー)、下丸子図書館(子ども・子育て支援コーナー)、蒲田駅前図書館(医療介護情報コーナー)の特設コーナーを開設。
平成	28	六郷図書館 建て替え	4月六郷図書館は建て替え工事のため仮庁舎(南六郷3-10-16)に移転。(平成30年秋までの予定)